



100年つづく「のれん」をご一緒に。

FVC Tohoku 株式会社
〒020-0022
岩手県盛岡市大通三丁目6番12号
開運橋センタービル
TEL : 019-606-3558
FAX : 019-606-3568

2019年12月20日

「秋田元気創生ファンド」

東北小水力発電株式会社への投資実行のお知らせ

「秋田元気創生ファンド(以下「当ファンド」)」(※1)は、2019年12月20日に東北小水力発電株式会社へ投資を行いましたので、お知らせいたします。

当ファンドは、秋田県において地方創生を確立するために、リスクマネーの供給と経営支援を実施することにより、対象企業の開発力強化、基盤強化と成長に寄与することを目的としています。本件投資は、秋田元気創生ファンドの投資審査基準に則り、ビジネスモデル及び事業計画等についての投資審査を経て、投資決定に至りました。詳細については、下記内容をご確認ください。

■今回の投資概要

投資実行日 2019年12月20日
投資金額 34,000,000円

※1:秋田元気創生ファンドの概要について

正式名称 秋田元気創生ファンド投資事業有限責任組合
設立日 2015年10月15日
組合員構成 有限責任組合員:秋田県信用組合、全国信用協同組合連合会
無限責任組合員:けんしん元気創生株式会社、FVC Tohoku 株式会社(※2)
運用期間 約8年
投資対象 秋田県信用組合の取引先の企業

※2:FVC Tohoku 株式会社について

2018年10月1日に運営を開始した、フューチャーベンチャーキャピタル株式会社 100%完全子会社で、岩手県盛岡市を中心に東北広域で展開している企業です。

名 称	FVC Tohoku 株式会社(エフブイシートウホク カブシキガイシャ)
代表取締役社長	小川 淳
本 社 所 在 地	岩手県盛岡市大通三丁目6番12号開運橋センタービル
業 務 内 容	ベンチャーキャピタル業務、投資事業組合の企画・運営、 インキュベーション施設運営業務等
運 営 フ ェ ン ド	もりおか起業ファンド、あきた創業サポートファンド、秋田元気創生ファンド 磐城国地域振興ファンド、ふくしま夢の懸け橋ファンド、 秋田再生可能エネルギーファンド、日高見の国地域振興ファンド
指 定 管 理 受 託	盛岡市産業支援センター(盛岡市のインキュベーション施設の受託)

《本件に関するお問い合わせ先》

秋田県信用組合

担当:経営支援部 部長 坂上 公成

〒010-0011

秋田県秋田市南通亀の町4番5号

TEL:018-831-3551

FVC Tohoku 株式会社

担当:大野

〒020-0022

岩手県盛岡市大通3丁目6番12号開運橋センタービル3階

TEL:019-606-3558

URL:<https://fvctohoku.co.jp/>

<投資先企業の概要、事業内容>

東北小水力発電株式会社

代表者：代表取締役社長 和久 礼次郎 氏

本社：秋田県秋田市新屋町字砂奴寄 4-21

事業内容：小水力発電システムの設計・製造・施工・販売及びメンテナンス業務
流体技術の解析業務並びにこれらに係るコンサルタント業務等

■同社事業の特長：

同社の流体解析技術の高さと小水力発電の日本及び海外市場の可能性に着目した豊田通商(株)とともに、廃車予定のトヨタ自動車(株)プリウスを活用した新しいタイプの水力発電システムを開発している点が同社の特長である。

プリウス車体から取り出したハイブリットシステムのバッテリー、モーター等を活用し、低コストで製造可能な小水力発電システムを、日本の上下水道で利用することにより、従来にない小水力発電を社会に浸透させようとしている。同社の技術力と豊田通商(株)のグループ力を活かした協力体制により、従来は高コストにより設置不可能な地点に小水力発電の設置が可能となる。その結果、廃棄及びリユースが困難であったトヨタプリウスのハイブリットシステムの再利用が可能となり、なおかつ発電も出来る仕組みである。これら取り組みは、トヨタプリウスのハイブリットシステムのリユースだけに留まらず、近年特に、世界の中でも再生可能エネルギーの供給割合が少ない日本にとって、再生可能エネルギー供給量拡大にもつながり、循環型社会の実現に寄与するため、社会に与える影響は大きいと言える。

※参考・・・同社は、同業・同規模事業者が高効率の小水力発電の設計ノウハウを所有していない中、同社技術者の多くが、NASA、JAXAで共同実験経験がある等、流体解析技術に強みを持っている。また、同社は、世界水力学会の日本第一人者である早稲田大学宮川教授との共同研究成果及びネットワークを持っており、少数精鋭の技術者集団でもある。

■投資理由：

同社では、従来のビジネスモデルを大きく見直し、今回の事業に取り組んでいる。大手企業の豊田通商(株)と組み、トヨタ自動車(株)プリウスのハイブリットシステムのリユースにつなげ、低価格の小水力発電システムを、主に上下水道の対象箇所を中心に設置する事業である。当事業は、同社が今まで培ってきた技術的なノウハウを活かしているため、競合他社より技術的に優れ、事業の拡大に期待が持てる事業となっている。

再生可能エネルギー供給量が少ない日本にとり、同社の当事業は、日本社会に与えるインパクトも大きく、さらに、循環型社会の実現にもつながる内容である。

以上

《東北小水力発電株式会社に関するお問い合わせ先》

東北小水力発電株式会社

担当：代表取締役社長 和久 礼次郎

TEL:018-883-0733